

## 「脳卒中片麻痺上肢に対する経頭蓋磁気刺激治療(rTMS)の臨床研究」

### 参加者募集

経頭蓋磁気刺激治療(rTMS)とは、コイルを用いて頭蓋の外側から大脳に磁気刺激を行う治療法であり、近年脳卒中片麻痺上肢に対する治療法として注目されています。

今回、脳卒中片麻痺患者の方を対象に、経頭蓋磁気刺激治療(rTMS)の効果を検討する治療研究を行うこととしました。磁気刺激は強度、頻度を変えることにより大脳の興奮性を変化させることが可能であり、本研究ではすでに障害を受けた部位の機能を再開させるものではなく、「健常な大脳の興奮性を抑え、障害側大脳の機能代償を増大させよう」とするものです。

### 参加の条件

参加していただける方

16歳以上

初発発症の脳卒中片麻痺で発症後6カ月経過している。

中等度の上肢麻痺の方。

肘の曲げ伸ばしができること。手首を曲げないで指でグーパーができること。

少なくとも母指、示指、中指の3指が曲げたり伸ばしたりできること。

頭部の手術をしたことがない。

心臓ペースメーカーが入っていない。

認知機能に問題がない。うつ病でない。透析をしていない。

少なくとも1年間は痙攣の既往がない。抗けいれん剤の内服をしていない。

全身状態が良好である(発熱、栄養障害、重度心疾患、体力低下がない)。

日常生活が自立している(自ら移動できるなど生活上では介助が要らない)。

当講座で実施している経頭蓋直流電気刺激下ロボット支援訓練を受けたことがない。

下記、参加スケジュールに同意していただける方。

### 参加スケジュール

参加の条件を満たし、rTMS治療を希望される方は外来診察を受けていただきます。入院期間など詳細に関しては、外来受診時にお伝え致します。

研究参加は入院を原則と致します。

磁気刺激は1日約10～15分で、椅子に安静にしているだけで、通常、痛みや苦痛を伴うことはありません。

磁気刺激後にロボット訓練(アームトレーナー)を受けていただきます。ロボット訓練は1日約1時間程度です。

治療前後に、運動機能を測定し効果を確認します。

問い合わせ先

産業医科大学リハビリテーション医学講座

住所:北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

電話:093-691-7266

担当:岩永,加藤,蜂須賀(明)